

KANTO GAKUIN UNIVERSITY

関東学院大学国際文化学部

創立10周年記念シンポジウム

#ライブ小説について

芥川賞作家 楊逸

#SNS時代の君主制

関東学院大学教授 君塚直隆

座談会

#SNS時代の国際文化と教育

21世紀・SNS時代の 国際文化と教育



関東学院大学教授
鄧捷



関東学院大学教授
君塚直隆



芥川賞作家
楊逸



関東学院大学教授
大橋一人

2024 **10/30** (水) 開場 17:00 開演 17:30

会場：テンネー記念ホール

横浜市中区万代町 1-1-1 関東学院大学
横浜・関内キャンパス 2階

お申し込みに関するお問い合わせ



シンポジウム参加方法

参加ご希望の方は、QRコードよりご登録ください

<https://kokusai10.peatix.com>

入場無料

関東学院大学学部庶務課（国際文化学部、社会学部、経済学部）TEL: 045 - 786 - 7056

URL: <https://kokusai.kanto-gakuin.ac.jp/> e-mail: gakusho11@kanto-gakuin.ac.jp

関東学院大学国際文化学部

これまでの歩みと、これからの展望

21世紀・SNS時代の国際文化と教育 国際文化学部 学部長 鄧捷

国際文化学部が発足して以来、時代が大きく変わりつつあります。本を読まなくなり、SNS、AI、ビッグデータがやってくる21世紀。一方、地域社会・国際社会では価値観の多様化・多文化共生がますます進んでいます。このような時代に知的好奇心を喚起し、時代と社会の要請に応える教育をどのように行なっていくのか。国際文化学部成立10周年を迎えて、これらの問題を考えるシンポジウムを開催します。多彩な講師陣が社会と教育現場を交差させながら語り合います。



登壇者略歴



楊逸（ヤンイー） 芥川賞作家

中国ハルビン出身。1970年の文化大革命で、両親ともに寒村に下放させられた過酷な体験を経て、1987年に留学生として来日。日本語学校に通って、一から日本語を学び、2007年「ワンちゃん」で小説家デビュー。同作で文学界新人賞を受賞。2008年には「時が滲む朝」で第139回芥川賞を受賞。日本語以外を母国語とする作家として史上初の受賞となった。



大橋一人 関東学院大学教授

群馬県生まれ。1989年から関東学院大学に勤務。国際文化学部が開設された2015年から2018年までの4年間は国際文化学部長を務めた。筑波大学修士課程英語教育コース修了。専門は英語学で、英文法理論の研究とそれに基づいた英文法教育の実践に携わる。高校の英語検定教科書を編纂した経験を持ち、著書に『授業力アップのための 一歩進んだ英文法』（共編）などがある。大学生の実践的英語力向上のための英文法指導に力を注いでいる。



君塚直隆 関東学院大学教授

東京都生まれ。上智大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（史学）。専門はイギリス政治外交史、ヨーロッパ国際政治史。著書に、『立憲君主制の現在』（新潮選書、2018年）、『エリザベス女王』（中公新書、2020年）、『君主制とはなんだろうか』（ちくまプリマー新書、2024年）、『教養としてのイギリス貴族入門』（新潮新書、2024年）、『イギリス国王とは、なにかー名誉革命』（NHK出版、2024年）などがある。栄典に関する有識者（内閣府）、国家安全保障局顧問（内閣官房）なども歴任。



鄧捷（トウショウ） 関東学院大学教授

中国湖北省荊州生まれ。1986年に北京大学に入学、天安門事件を経て、1991年に東方言語文学部日本語科を卒業。東京大学大学院人文科学系博士課程修了。関東学院大学国際文化学部教授。専門は中国近現代文学、日中比較文学。10年以上にわたって原三溪市民研究会と『三溪詩集』の解説を進めている。著書に『中国近代詩における文学と国家——風と琴の葛藤』（単著）、『越境する中国文学』（共著）など、ほか論文多数。

総合司会 半田あい



会場へのアクセス

JR 関内駅南口駅前 徒歩約2分

お申し込みに関するお問い合わせ

関東学院大学学部庶務課（国際文化学部、社会学部、経済学部）

URL <https://kokusai.kanto-gakuin.ac.jp/>

e-mail gakusho11@kanto-gakuin.ac.jp

TEL 045-786-7056

